

宇宙一カンタンなスローDX・AXの教科書 / 導入した施設の声

訪問看護ステーションひかり（合同会社NEO・訪問看護）

ずっと探していたものが、手の届く価格で見つかった。相談した翌日には形になる、記録のパートナー。

利用者さま約330名を、看護師・リハ職あわせて20名ほどのスタッフが訪問する、訪問看護ステーションひかり（合同会社NEO）。精神科訪問看護も担い、看護とリハがそれぞれ担当を持つ「プライマリー制」で、一人ひとりの利用者さまを支えています。2026年9月に神マナを導入し、何が変わったのか。門馬恵里香さんに伺いました。

合同会社NEO 訪問看護ステーションひかり

門馬 恵里香

① ずっと探していたこと。——AIで記録を楽にしたい。でも、見積もりは手が届かなかった。

私たちのステーションは利用者さまが330名ほどいて、毎日20名ほどのスタッフがiPadを持って訪問しています。訪問のたびに記録に加えて、月末には訪問看護計画書と報告書が、利用者さまの人数分だけ待っています。看護とリハで書き方も違いますし、医療保険と介護保険で様式も変わる。精神科訪問看護では評価の欄も加わりません。現場の時間の多くが、記録に取られていました。

しかも、20台を超えるiPadで、20名ほどが同時に動いています。記録の仕組みを変えるなら、全員が迷わず使えるものでなければ意味がありません。ここは、導入を考えるうえでいちばん慎重になったところです。

AIで記録を楽にできないか。現場の負担を軽くする方法はないか。社長は、ずっと検索を続けて、見えそうなサービスを探していました。ただ、話を聞いてみると、どこも費用が想像以上でした。それでも、現場のためにはやるしかないのかな——そう考えていた時期もあります。

記録の時間が長くなるほど、本来いちばん大切にしたい看護の時間が削られていきます。利用者さまのお宅で、目の前の方に向き合うこと。その時間を守る仕組みを、私たちはずっと探していました。

もう一つ気がかりだったのは、訪問先での録音です。録音すればするほど費用がかかる仕組みだと、スタッフに「気にせず録っていいよ」とは言えません。電波の弱いお宅もあります。

② 神マナに出会って。——「これだ」と思ったのは、使い方と価格の両方でした。

神マナを見つけたのは2026年9月の初めです。デモアカウントを作り、翌日に画面を見ながら説明を受けて、その日のうちに導入を決めました。数日後には、20名で使えるプランに切り替えています。

決め手になったのは、私たちが求めていた使い方ができることでした。そしてもう一つは、使い方がシンプルなこと。新しい仕組みを入れると、覚えることが増えて、かえって現場が煩雑になることがあります。神マナは、話した内容がそのまま記録になり、カイポケに入るところまでつながっているの、スタッフが迷わずに使い始められました。

“費用面を気にせず訪問中の録音を継続でき、通信環境に左右されず使用できる点は、まさに弊社が求めている運用方法であり、神マナ様に辿り着いた理由でもあります。

— 門馬さん（9月23日）

価格を見たときは、正直びっくりしました。それまで検討していたものとは比べものにならないくらい、手の届く金額だったからです。実際に使い始めてからも、アプリを使うための費用を大きく抑えられています。

③ 相談した翌日には、もう変わっている。——実装のスピードに驚いています。

使い始めてみると、当然「ここをこうしてほしい」が出てきます。たとえば、こんな相談をしてきました。

- ・計画書の作成者欄に、看護とリハの担当者がきちんと入るようにしてほしい
- ・医療保険の月は、報告書をリハの別添ではなく医療の様式で作ってほしい
- ・精神科の評価（GAF）や記入者を、前回から引き継げるようにしてほしい
- ・プライマリーの担当で、利用者さまを絞り込めるようにしてほしい
- ・iPadの容量がいっぱいになるので、何とかしてほしい
- ・報告書に必ず入れる文言や、バイタルの書き分け、指示書などの期限が近いことの知らせ

思いついたことをメールで送ると、早ければその日のうちに、遅くとも数日で、アプリが新しくなっていました。夜に送った相談が、翌朝には直っていたこともあります。朝に送った相談書が、その日のお昼過ぎには「反映しました」と返ってきたこともありました。できないことは、できないと理由を添えて返ってくるので、こちらも次の手を考えやすいです。

“ご相談した内容について迅速にご対応・反映いただいております、大変助かっております。

— 門馬さん（9月18日）

月末の計画書も、約300名分をまとめて作れるようになりました。カイボケに入るところまでつながっているので、作ったものを手で写す必要もありません。

“神マナ導入後、記録業務の効率化につながっている部分が非常に大きく……

— 門馬さん（9月23日）

この実装の早さには、いまでも驚いています。

管理者として欲しい機能と、現場のスタッフが欲しい機能は、必ずしも同じではありません。管理者は、計画書や報告書を期限までにそろえたい、担当ごとに状況を見たい。現場は、訪問のあいだに手早く記録を終えたい。神マナは、その両方の声を拾って、どちらにも応えてくれています。

④ これから。——事業所の拡大に向けて、一緒に育てていきたい。

9月には訪問看護の勉強会にも参加しました。ほかの事業所さんがどう使っているかを知ると、自分たちの使い方も見直せます。

10月8日には、幕張メッセで開かれた展示会（メディカルジャパン東京）に、私たち3人で会いに行きました。メールでは何度もやり取りしていましたが、直接お会いするのは初めてです。メールだけでは伝えきれない現場の様子も聞いてもらえて、とても良い時間でした。

帰り道、3人で話したのは「とても早くて、安い。これはすごく伸びるだろうね」ということでした。相談すればすぐに形になり、価格も手が届く。その両方がそろっているサービスは、なかなかありません。

“いつも現場の声を丁寧に聞いていただき、心より感謝しております。

— 門馬さん（9月23日）

神マナのおかげで、スタッフが看護に集中できる環境ができてきました。記録に追われる時間が減ったぶん、利用者さまやご家族と向き合う時間を大切にできます。

これから事業所を広げていくうえでも、神マナは大いに役立ってくれると思っています。私たちの声で良くなった機能が、ほかのステーションの役にも立つ。そういう関係で、これからも一緒に育てていけたらうれしいです。

※本稿は、門馬様とのメールのやり取りと展示会でお伺いしたお話をもとに当社が構成し、ご本人に内容をご確認いただいたうえで掲載しています。感想はご本人のものであり、効果は事業所の状況によって異なります。

株式会社ライフシフト 介護AIアシスタント「神マナ」

<https://lifeshift-inc.com/> ©2026 LIFESHIFT K.K.